

# 魂の構造(仮説) II

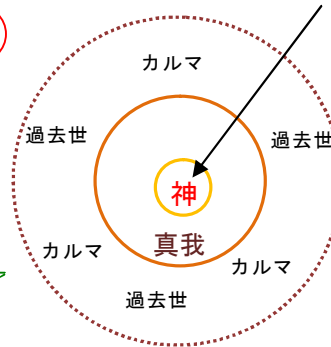
神様も  
すぐに帰ってきてもらっては面白くない。  
いろいろな経験がしたい。

ひとり一人、ひとつ一つに神は宿る

究極的にはこの神(サムシング・グレート)のもとへ還る



真我は  
自分が何をすべきか知っている



真我の構造

分魂の構造

守ってください。  
手助けしてください

そこに神さまの計らいで 守護の魂 と 浄化を願う魂 をつける。

これまで(自殺・殺人等により)何度も失敗して来た魂の一部を付帯させ、その魂に自信をつけさせる。

ただし、  
これまでのカルマ(業・癖)に流され悪いこともしでかす。

けれども、  
ちゃんと神さまはその影響を受けない手だても施している。

II



そこに  
**修行**  
がある。

**守護**

**使命**

**カルマ**

**瞑想**

脳を使うわけでもない

湧き上がってくる。

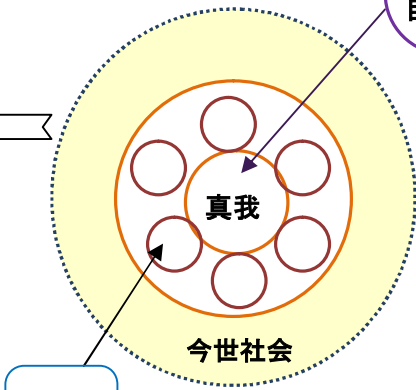


いろいろなものに包まれている

基本的に自由が与えられている

- 今世社会の影響
- 血族・親族の影響
- など諸々の影響

その中でやっていく。



付帯する  
**分魂**

- 守りの魂** ... 真我を守護する
- 浄化の魂** ... (これまで失敗を繰り返し) 浄化(成長)を願い付帯した魂

